

1. 件 名：日本原子力研究開発機構大洗研究所の事業者防災訓練報告について

2. 日 時：令和4年1月17日 14:25 ～ 15:30

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

澤村防災専門官、蔦澤防災専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

宮地防災専門官

日本原子力研究開発機構

大洗研究所 保安管理部危機管理課 課長、他8名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、令和3年11月9日に実施した同法人大洗研究所の原子力事業者防災訓練について、資料1に基づき防災訓練実施結果報告の概要説明があった。

具体的には、防災訓練の項目、防災訓練の内容、防災訓練の結果の概要、今後の原子力災害対策に向けた改善点についての説明であった。

原子力規制庁より、防災訓練の目的、防災訓練の内容についての評価がなされているか、今後の原子力災害対策に向けた改善点について課題と原因及びその対策が明らかになっているか確認を行った。この中で、招集訓練における設置タイミングによる評価を追加すること及びERC対応ブースの統括者と発話者の多重化対策は今年度実施される日本原子力研究開発機構全体の訓練を通じて評価することから現状は検証中であることを追記するよう伝えた。また今後の防災能力向上の施策として、参集直後の発生情報共有化のためのブリーフィングを追加検討することを伝えた。

日本原子力研究開発機構から、上記指摘を踏まえた防災訓練実施結果報告書を取りまとめ、後日提出するとの回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 防災訓練の結果の概要（案）

(日本原子力研究開発機構大洗研究所)